

コース内容 循環器科

研修責任者

小山 卓史 (日本内科学会認定内科医、日本循環器学会循環器専門医)

指導医

岡田 豊 (日本内科学会認定内科医、日本循環器学会循環器専門医)

当院循環器科の専門教育における理念

循環器科専門医は、内科医としての基盤の上に積み上げられる専門職であり、カテーテル治療医は、内科医としての視点を見失ってはならない。

研修目標

内科医としての視点を常に意識しながら、侵襲的検査や治療を行える循環器専門医となることを目標とする。

研修内容

- 1、 心臓病疾患の診察を、指導医とともにに行い、打聴診等の理学所見を正しくとれるようにする。
- 2、 生理検査室に集まる心電図の診断は、後期研修医がすべてに行い、指導医のチェックを受ける。習熟の度合いにより免許皆伝となれば、指導医のチェックは不要となる。
- 3、 心エコー検査、トレッドミル運動負荷 ECG は、1年目は指導医とともにに行い、2年目以降は独立して検査を行えるようにする。
- 4、 心筋シンチ、冠動脈 CT の読影を独立して行なえるようにする。
- 5、 病棟での基本手技 (Swan - Ganz catheter、temporary pacemaker、IABP 管理、ACLS etc) は指導医のもとに学習し、独立して行なえるようにする。
- 6、 心臓カテーテル法は、Femoral approach、Radial approach とともに行なえることを目標とする。習熟の度合いにより、PCI (Stent 治療) を指導医とともに行う。
- 7、 循環器関連学会等での発表を年に1回を目標に行う。